

令和 6 年度 第 1 回宇城市子ども・子育て会議 議事要旨

1 開催日時 令和 6 年 5 月 29 日（水）14:00～15:40

2 会場 不知火防災拠点センター 研修室 1・2

3 出席委員 12 名

出川委員 杉浦委員 前田委員 林田委員 福田委員 末富委員 内田委員

藤田委員 鷺尾委員 本郷委員 堤委員 神之田委員

4 傍聴者 熊本日新聞社宇城総局総局長

5 会議次第

（1）開会

（2）会長あいさつ

（3）議事

（4）閉会

※宇城市子ども・子育て会議条例第 5 条第 2 項により、15 名中 12 名出席（半数以上の出席）のため、この会議は成立する。

【議事】

1 令和 5 年度第 3 回 書面決議に伴う質問事項等への回答について

事務局より資料に基づき説明 資料 1

2 （仮称）宇城市こども計画に一体とする計画について

事務局より資料に基づき説明 資料 2（P3-5）

○藤田委員：（仮称）宇城市こども計画体系表の中に、「乳幼児保育や教育」という文言が出ていないのが気になる。今のうちから文言として入れておいた方がいいのではないかな。

○事務局：今後内容を検討していく中で、当然入っていく文言・内容となってくるが、今回文中に入っていない点は注意をし、今後、計画の中に漏れることが無いよう取り組んでいく。

○内田委員：こどもの誕生から乳幼児期のこどもの権利について、こども・若者が主体とする取り組みがでていることは重要だと思う。しっかり取り組んで欲しい。

○藤田委員：取り組み内容の中に、「質の高い公教育の再生等」とあるが、現在宇城市の教育の中に再生すべき状況があるのか？いじめが多いとか、不登校率が高いとかというのがあって再生が必要なのか。「再生」という表現を選んでいる理由を教えて欲しい。

○事務局：こども大綱の一部を引用したもので、このような表記になっている。特別、宇城市において具体的な事例を把握した上での表記ではない。

○藤田委員：宇城市の計画を作るのであれば、市の現状に沿った表記が必要なのではないか。

○事務局：指摘された点を考慮し、本市の現状に沿った内容になるようにしていきたいと思う。

○内田委員：「教育の再生」は国も挙げているところ。共通認識を持って取り組むということでは、この表記でもいいと思う。

○福田委員：「障害児支援」の「がい」の字を、ひらがな表記を使用して欲しい。

○事務局：ご指摘ありがたく思う。

3 計画策定に関するアンケート調査等の方針について

事務局より資料に基づき説明 資料2（P6-10）

○各委員より、各アンケートについて、改善また修正すべき点について意見をいただいた。

4 ヒアリング調査について

事務局より説明 資料2（P11-12）

○藤田委員：「⑤若者女性」については、婚活セミナー参加者だけでなく、そうでない方も対象に入れて欲しい。

○前田委員：⑨小学校低学年だけでなく、高学年も対象とした方がいいのではないか。

○林田委員：③不登校児童だけでなく、その保護者も対象とした方がいいのではないか。

○杉浦委員：⑧ひきこもりについては、隠しておきたいという思いを抱えた方も多いので、対象とするのは難しいと感じる。

○内田委員：ひきこもりの方でも、メールではお話を聞ける方もいる。

5 その他

特になし